

様式第二号の八 (第八条の四の五関係)

(第 1 面)

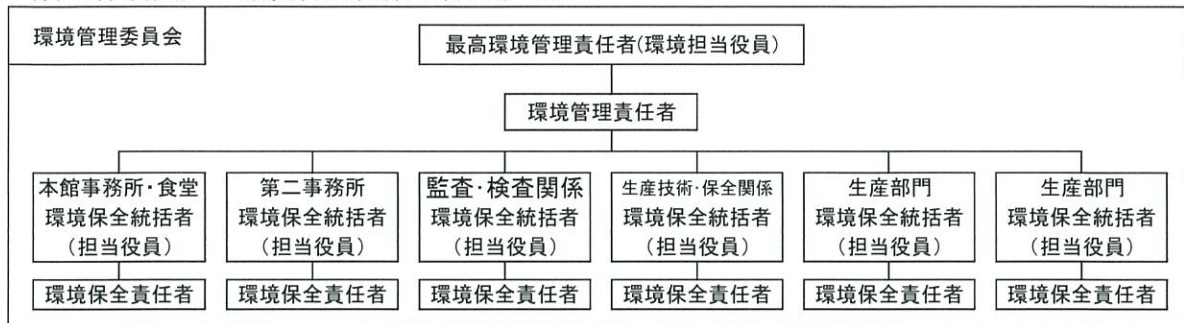
産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 24 日	
岐阜県知事 様	
提出者 住 所 岐阜県各務原市鵜沼三ッ池町6-455 氏 名 岐阜車体工業株式会社 代表取締役社長 片山 純裕 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 058-379-0114 (P E 環境室)	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	岐阜車体工業株式会社
事業場の所在地	岐阜県各務原市鵜沼三ッ池町6-455
計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	自動車製造業 (3111)
② 事業の規模	プレスから溶接、塗装、組立の車両完成までの一環工場 日当り約 4 0 0 台生産
③ 従業員数	2, 5 0 0 名 (4 月 3 0 日時点)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div>プレス → 溶接 → 塗装 → 組立 → 完成車両</div><div>塗装 → 廃プラスチック → 委託処理業者</div><div>塗装 → 塗装清掃汚泥 → 委託処理業者</div><div>塗装 → 排水処理 → 脱水汚泥 → 委託処理業者</div><div>浄化槽、食堂排水 → 排水処理</div></div>

(日本工業規格 A 列 4 番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図) 環境管理組織で管理する。



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず・廃プラ類
	排出量	968 t	443 t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃プラ---加工不良品低減活動の推進 ・ 汚泥-----脱水汚泥の含水率低減活動の推進 		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず・廃プラ類
	排出量	1,041 t	477 t
	(今後実施する予定の取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 削減目標 生産原単位に対して年1%低減 ・ 加工不良品低減活動の推進継続 ・ 排水量の低減による汚泥発生量低減 ・ 汚泥の含水率低減の推進継続 		

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 埋立、焼却廃棄物の分別徹底による低減 ・ 鉄くず等の再資源化への分別による産業廃棄物低減
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現状の分別活動の継続 ・ 金属複合プラを分別し重量の低減

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず・廃プラ類
	全 処 理 委 託 量	968 t	443 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	968 t	443 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	65 t	117 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加工不良低減活動 ・ 脱水汚泥低減活動 		

② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	木くず・廃プラ類
	全 処 理 委 託 量	1041 t	477 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1041 t	477 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	70 t	117 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 削減目標 生産原単位に対して年1%低減 ・ 加工不良品低減活動の推進継続 ・ 排水量の低減による汚泥発生量低減 ・ 汚泥の含水率低減の推進継続		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。